

これからの活動予定

イベント名称	開催日時	場所
ホタルを守ろうプロジェクト	偶数月第1日曜日 9：00～11：00	目田川親水公園
目田川モデル河川づくり作業	毎月第3土曜日 9：00～11：00	目田川一帯
夏休み 古民家キャンプ	8月23日(土) 11：00～24日(日) 15：00	栗東 古民家あるきだす
クリーン大作戦	9月7日(日) 9:00～11:00	赤野井漁港
水辺百選講座	10月13日(月・祝) 9:30～13:30	集合 守山駅
びわ湖まるっと親子セミナー	10月25日(土)	守山市民ホール
水辺の楽校	11月15日(土)	目田川

今月の詩

葉も屋根も人も水面をうちならし 雨は日本を横断し進む 石田桜翠
 淀川の イタセンパラを 守ろうぜ 佑真

しじみのひとりごと

今年のほたるパーク&ウォークは、あいにく雨の日もありましたが、ご案内しようとする「去年も来たので大丈夫」というお声を複数頂き、守山市の風物詩になっていると実感しました。しじみは幼い頃、近くの川で魚のつかみ採りをしたり友達と遊んだ記憶から、川というフィールドから生まれるコミュニティの素晴らしさを広く伝えたいと思い、これまで都市河川に携わってきました。色々なきっかけでこの目田川に出会い、都市河川とは違って柵がなく、川に入って生物の観察や清掃ができるなど、川に愛着の持てる環境があること、それに関わるコミュニティの存在に魅了されこの街にやってきました。桜が咲き、ホタルが飛び交い、落ち葉が舞い、雪景色となる。梅雨の時期も木々が優しく傘を差し伸べてくれる。遊歩道を多くの人が行き交う姿を見て、十人十色の人生を目田川が彩っているようにさえ感じます。これまでの長い活動を通じて培われた多世代にわたるコミュニティ、活動を多くの人に知ってもらい、これからも多くの方の関わりの中で、愛される目田川として、私たちの人生を彩ってくれることを願っています。

2025/7/15 発行 1,500部発行

豊穣の郷だより

人と環境のネットワーク VOL.105

2025年度(第22回)守山ほたるパーク&ウォークを終えて

5月24日初日はあいにくの雨。オープニングは体育館で太鼓の賑やかな演奏と、目田レンジャーの元気な活動発表から始まりました。雨にもかかわらずホタルの観賞に大阪や和歌山から来て下さった方もおられました。また、この日に予定していた夢灯は残念ながら中止となりましたが、ふるさと劇団ほたる公演は、3回とも多くの方々にご来場いただき、劇団員の励みとなりました。そしてどのイベントも参加者が多く、よりホタルに関心を持って頂けたと思いました。

5月25日・31日は観賞者も大変多く、「きれいでした！」と感動されていました。今年はホタルの飛翔時期も遅く、パーク&ウォーク終了後もホームページ等の飛翔状況を見て、ほたるの森資料館のほたる河川に来て下さる方が大変増えました。期間中、事故や怪我もなく終えられたことが本当に良かったと思っています。ご協力頂いた実行委員会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



名物館長 退任へ

このたび、守山市ほたるの森資料館の古川道夫館長がご退任されました。副館長時代を含め、14年間にわたり資料館の名物館長として多くの来館者に親しまれてきました。一身上の都合によるご退任ではありますが、そのユニークな発想と温かな人柄を生かし、新たな環境でもご活躍されることと思います。なお、今年度は加村賀勇（かむらよしお）副館長が館長代行として、引き続き資料館の運営を担ってくださいます。



発行	認定NPO法人 びわこ豊穣の郷	TEL / FAX	077-583-8686 (有線 583-8686) / 077-558-5007
理事長	金崎 いよ子	E-MAIL	houjyounosato@lake-biwa.net
住所	〒524-0041 守山市勝部5丁目10-25	URL	https://lake-biwa.net/akanoi/

目田レンジャー提案の『ホタルを守ろうプロジェクト』2年目が始まりました！

このプロジェクトは我らが次世代の環境リーダーである、目田レンジャーたちが提案してくれた活動です。目田川の図書館横でホタルをはじめとする生物多様性を目指した川づくりを市民の皆さんに呼び掛けています！昨年同様、COOP滋賀のできるコトづくり助成金をいただくこともでき、今年は道具や抜いた草を運ぶためのリヤカーを購入させていただく予定です。また、専門家と一緒に定期的に生き物調査などを行い、どんなふうに川づくりを進めていけば、生き物の住みやすい環境になるかを考えながら活動を進めていきます。

さらにパワーアップした『ホタルを守ろうプロジェクト』に皆さんもぜひ、参加してみてくださいね！

〈開催日〉偶数月第1日曜：8/3・10/5・12/7・2/1



語り合い・つながる場にー通常総会&交流会を開催！

5月18日（日）午前10時より、認定NPO法人びわこ豊稷の郷第22回通常総会を開催しました。会場には28名が参加し、委任状・書面決議による出席は119名にのびりました。司会は石田清造さん、議長は金崎いよ子理事長が務めました。総会では、以下の議案がすべて承認されました。

- ・第1号議案：2024年度事業報告および決算報告
- ・第2号議案：2025年度年間事業計画（案）および活動予算（案）

また、新たな事業への取り組み方に関する提案もあり、今後の活動に向け、法人全体が一体となって取り組んでいこうという意欲が感じられる、有意義な総会となりました。総会終了後には、会場となった「パインツリー」にて

昼食を囲みながらの交流会を実施。目田川の造成時に尽力された元市職員で、現・川中自治会長の松永之和さんが、造成当時の思いや、植樹された樹木のエピソードをキーボード演奏とともに披露してください、会場は和やかな雰囲気になりました。参加者同士のつながりも深まり、これからの活動への思いを共有する貴重なひとときとなりました。

未来につなぐ環境活動ー地球環境基金採択で新たな一歩へ！

今年度、新たな活動の資金として申請していた、地球環境基金の助成が採択されました。地球環境基金は、環境省所管の独立行政法人環境再生保全機構により運用される環境基金の一つです。

豊稷の郷の今までの活動を踏まえ、エコツーリズムやアグリツーリズムを取り入れた事業、子ども向け環境学習のプログラム開発などに活用する予定です。6月には野洲市須原ゆりかご水田での観察会を行いました。8月に栗東市荒張の古民家を利用したキャンプを企画しています。

この他、プラごみを利用したクラフト開発や利用者向けアンケート調査などを行い、今後の活動に繋げていこうと考えています。



シリーズ 水辺の楽校アラカルト②～目田川へ～

2005年から「水辺の楽校」として、目田川河川公園へ活動場所を移しました。多自然型の生態系豊かで、より水に親しめる河川環境を活かし、水辺の野草観察やホタルの幼虫の放流、水生昆虫の観察などを行ないました。この楽校のコンセプトは遊びを通して、非日常的な体験学習要素を盛り込んだプログラムで、参加者同士の交流を図ること。また、子どもたちが将来の環境リーダーの役割を担ってくれることを目指し、活動を続けることです。



「かわいい！」から「すごいね！」へー子どもたちの堂々発表



4月26日に第96回滋賀県労働者統一メーデーが開催され、草津栗東・守山野洲地区集会(会場 栗東文化芸術会館さくら)にて目田レンジャーの「ホタルを守ろうプロジェクト」を紹介してきました。

目田レンジャー達が舞台に立つと来場者からは「小っちゃいね。かわいいー。頑張って！」との掛け声があり、発表が始まると「しっかりしてるねー。いい活動してる。」と嬉しい声援をいただきました。発表後はチラシを配り、興味を持っていただいた来場者から質問を受ける姿もみられ堂々と名刺交換する姿に頼もしさを感じました。

たくさんの方に思いが伝わり、この活動に関心を持って目田川に来ていただけますように。

全国の仲間と出会った日ーこどもエコクラブ全国フェスティバルに参加

3月23日(日)、目田レンジャーが滋賀県代表として壁新聞を発表してきました。受賞は叶いませんでしたが、同じ会場となった三重、静岡、青森県の発表を熱心に聞き、タンポポの在来種と外来種の被り物を使った発表や、部活動と連携した活動などを知ることができました。発表後の交流タイムでは、

始めは戸惑っていたレンジャー達も、徐々に打ち解け、積極的に名刺を配りにいく姿が見られました。他団体から、「これからもホタルを守り続けてほしい。」「ホタルが自生している川と比較したことがすごい！」というコメントをもらいました。

目田レンジャー達にとって、全国の活動を知り、生の意見を聞くことで、これからの活動の参考となり、やる気につながればと願います。



ボランティア活動の励みにー万博入場券をいただきました！

このたび、守山市より目田レンジャーの子どもたちに関西万博の入場券をいただきました。これは、株式会社村田製作所様が市内で活動するボランティアの皆さんに向けて500枚をご寄贈くださったもので、その贈呈先として守山市が目田レンジャーを選んでくださいました。貴重な体験の機会をいただき、子どもたちの喜ぶ顔が目に見えます。心より感謝申し上げます。